

大谷幼稚園 6月のおたより

『子ども・子育て支援新制度』について

園長 たなか たかあき 田中 貴章

2015年4月から始まった『子ども・子育て支援新制度』。「社会保障と税の一体改革」における、消費税率引き上げによる増収分のうち、7,000億円を財源として活用するという、社会全体の費用負担により、幼児教育、保育、地域の子育て支援の質・量両面にわたる充実を図る新しい制度です。子ども・子育て支援新制度の実施は各市町村が主体となり、地域における子育ての状況やニーズを把握したうえで、そのニーズに基づいて準備が進められてきました。今までの子どもを預ける環境は、親が働いていたら保育所、働いていなかったら幼稚園という考え方でした。しかし、働きながら幼稚園に通わせたい、保育所以外にも預けられるところがないか探しているという保護者さまの要望に応え、地域の実情に応じて、正規の教育時間終了後も引き続き在園児を夕方まで預かる「横浜市私立幼稚園等預かり保育事業」を実施している幼稚園が多くあります。その様な背景から全国的に見て横浜市は新制度へ移行する幼稚園数が今のところ少ない印象があります。大谷幼稚園でも新制度が施行せれる以前より横浜市型お預かりを実施しており、その点を踏まえたうえで新制度移行を模索しております。今のところ「施設給付型幼稚園」への移行を検討しております。その件に関しましては、あらためて保護者の皆さまに説明会等で内容や時期についてお伝えしたいと考えております。



幼稚園でも新制度が施行せれる以前より横浜市型お預かりを実施しており、その点を踏まえたうえで新制度移行を模索しております。今のところ「施設給付型幼稚園」への移行を検討しております。その件に関しましては、あらためて保護者の皆さまに説明会等で内容や時期についてお伝えしたいと考えております。

『布施奉仕』について

7月の教育目標（ねらい）は予定表に記載しました「布施奉仕（ふせほうし）」です。「布施」という言葉の意味は、「自分の損得を考えずに人に尽くす」という意味です。人に親切にすることは、よい知恵を貸したり、励ましたり、力づけたりと相手の身になって思いを寄せること、つまり心の『布施』なのです。お子さま達は本来、「人にしてあげたい、人に認めてほしい」という「人と関わることを喜びとする心」を持っています。人に親切にしたり、されたりすると、とても嬉しく感じるものです。この心地よい体験を少しでも多く実感して、どんな時でも親切を自然にできるようにしていきたいと思っております。ご家庭でも、お子さまの成長していく過程で生まれる「人と関わることを喜びとする心」が失われないように、しっかりと認め、褒めることによって、更に人との関わりが上手にできるように気にかけていただきたいと思います。

